

通園施設利用児保護者の進路に ついての意識調査報告書

平成 26 年 11 月

豊田市こども発達センター

目次

はじめに.....	1
アンケート結果.....	2
回答について.....	2
進路について.....	2
選択理由.....	4
意見を参考にした人.....	6
平成 25 年 7 月と平成 26 年 2 月での変更.....	8
自由記述について.....	8
不安な点について.....	8
配慮してほしい点について.....	8
まとめ.....	9
参考資料 1 アンケート項目.....	10
1 通園施設年長児保護者対象.....	10
2 通園施設年長児以外の保護者対象.....	13
参考資料 2 通園施設利用児保護者の進路についての意識調査実施メンバー.....	16

はじめに

日ごろは豊田市こども発達センター(以下、発達センター)の療育にご協力していただきありがとうございます。発達センターの通園施設をご利用いただいておりますお子さんは、いずれは通園施設を卒園され、地域の園や学校をご利用させていただくことになります。お子さんが通園施設を卒園されてからも発達センターは引き続き支援を行っていきますが、その時に参考にさせていただけるよう、保護者の進路に対する気持ちや不安な点等についてアンケート調査を実施いたしました。結果について取りまとめご報告させていただきます。

アンケート調査につきましては、発達センターの通園部門である「ひまわり」「たんぼぼ」「なのはな(なのはなグループ)」「なのはな(ちょうちょ・とんぼグループ)」をご利用いただいている保護者の方を対象に平成25年7月と平成26年2月の2回実施させていただきました。配布、回収にあたっては発達センター通園部門の各施設に協力していただきました。アンケートの内容については、報告の最後に参考資料1として添付させていただきました。

今回のアンケートの結果を踏まえ、センターでのお子さん、保護者の方への支援を充実させていくとともに、関係機関にご報告させていただくことで、支援の参考にさせていただければ幸いです。

豊田市こども発達センター長

アンケート結果

回答について

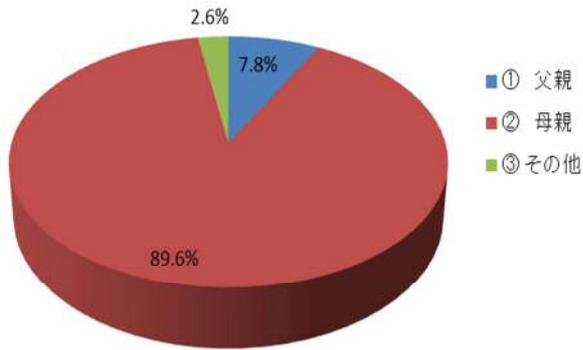
2回のアンケートにおいて、3施設全体でそれぞれ115名、112名の方からご回答いただきました。回収率はそれぞれ89.1%、85.3%となりました。みなさまご協力ありがとうございました。

回答された方は2回の実施とも母親がもっとも多く、全体の90%近くを占めていました。その他はいずれも「祖母」という回答でした。

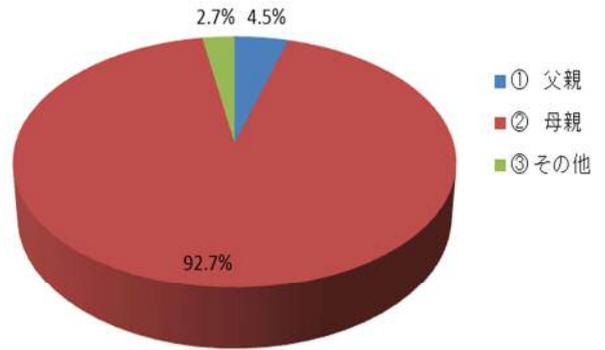
平成25年7月実施(115名)

平成26年2月実施(112名)

記入者の内訳(全体)



記入者の内訳(全体)



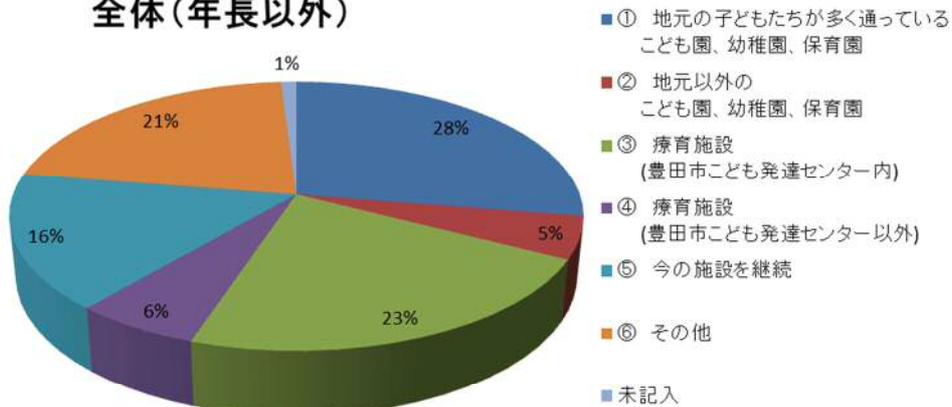
進路について

年長以外の方では園への移行を希望される方(①、②)が2回の調査とも1/3程度でした。療育施設の利用を希望される方(③、④、⑤)が7月では45%でしたが、2月では52%で半数を超えました。今の施設の継続をご希望される方が多くなっています。「その他」としては、7月は並行通園のご希望や、まだ迷っているという回答でしたが、2月の時点での「その他」は、みなさんが並行通園のご希望でした。

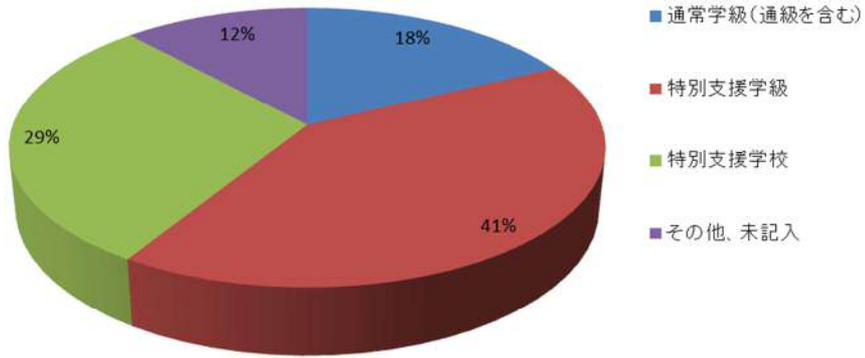
年長のお子さんは3通園施設全体で16名と人数が少ないのですが、7月では特別支援学級をご希望の方が一番多かったのですが、2月の実施では特別支援学校が一番多くなりました。

平成25年7月実施

全体(年長以外)

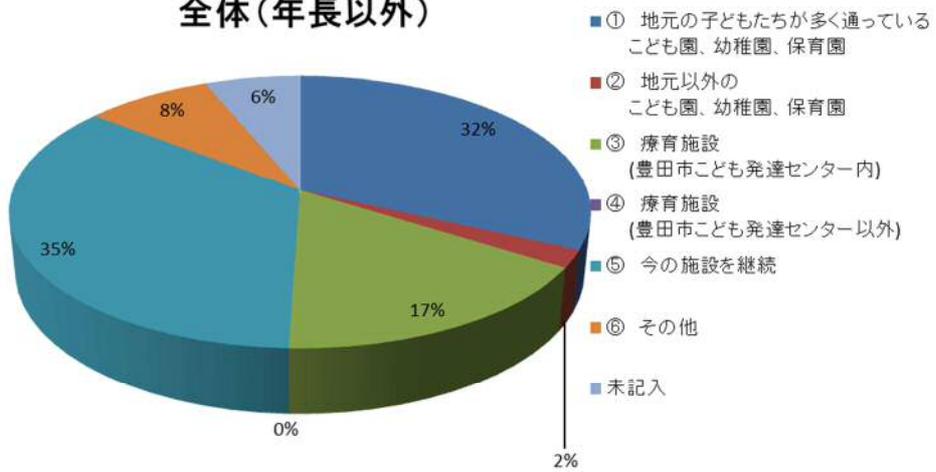


全体(年長)

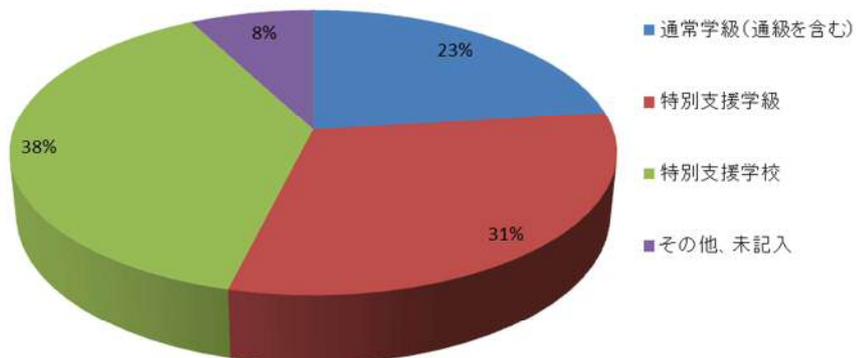


平成 26 年 2 月実施

全体(年長以外)



全体(年長)

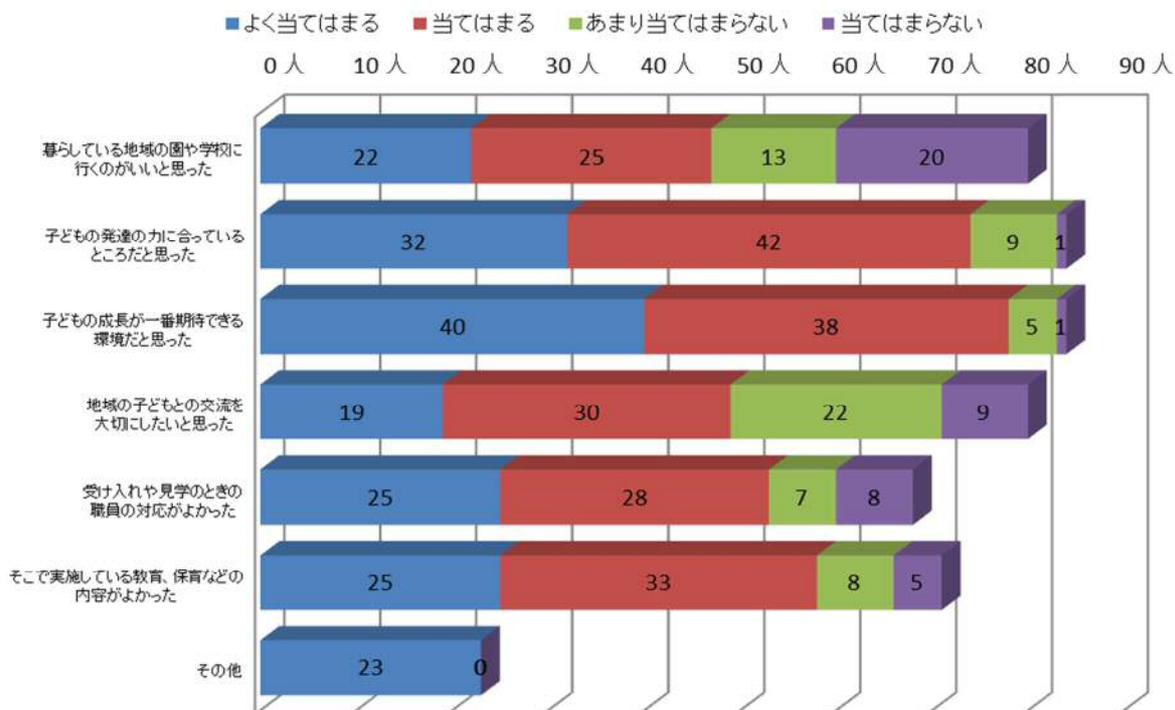


選択理由

選択理由としては、「子どもの発達に合っている」、「成長が一番期待できる」という項目が一番多いという結果でした。

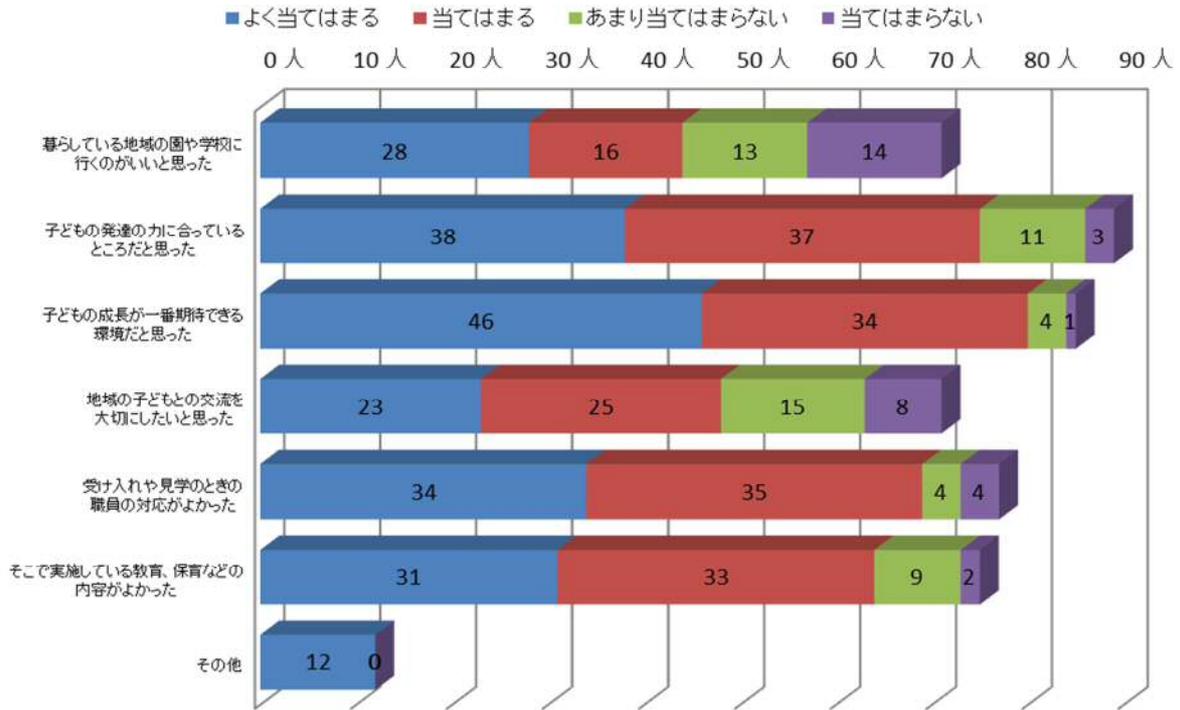
平成 25 年 7 月実施

全体(年長以外)



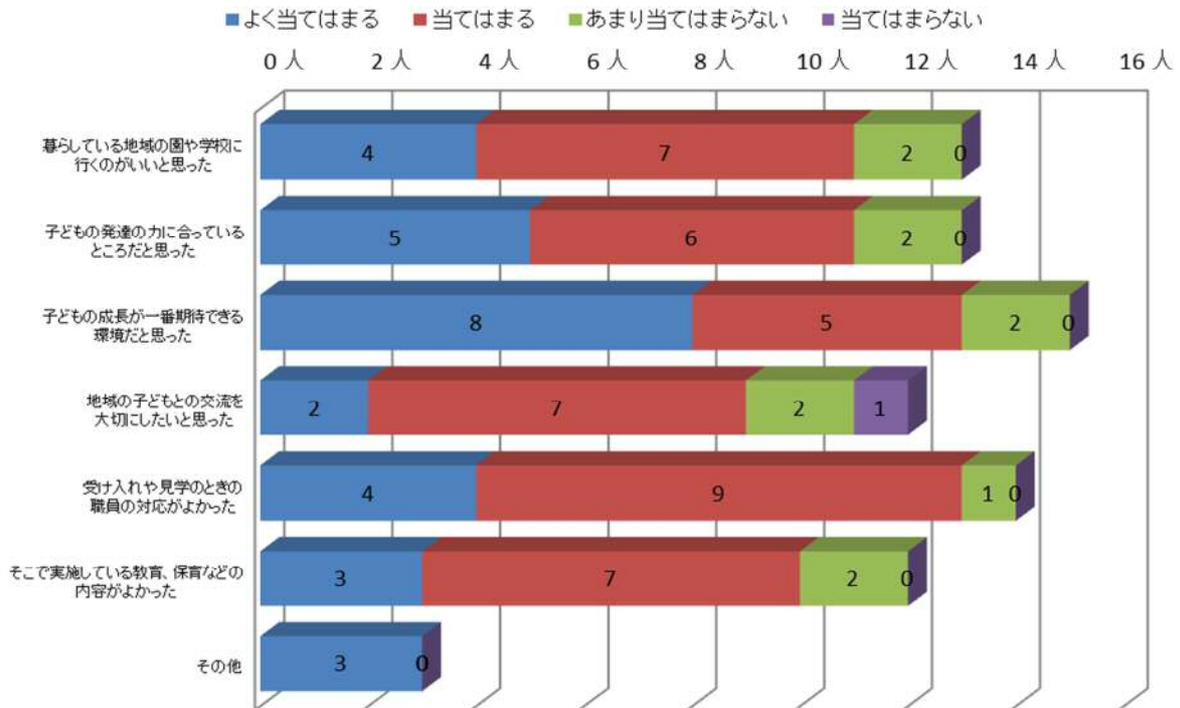
平成 26 年 2 月実施

全体(年長以外)

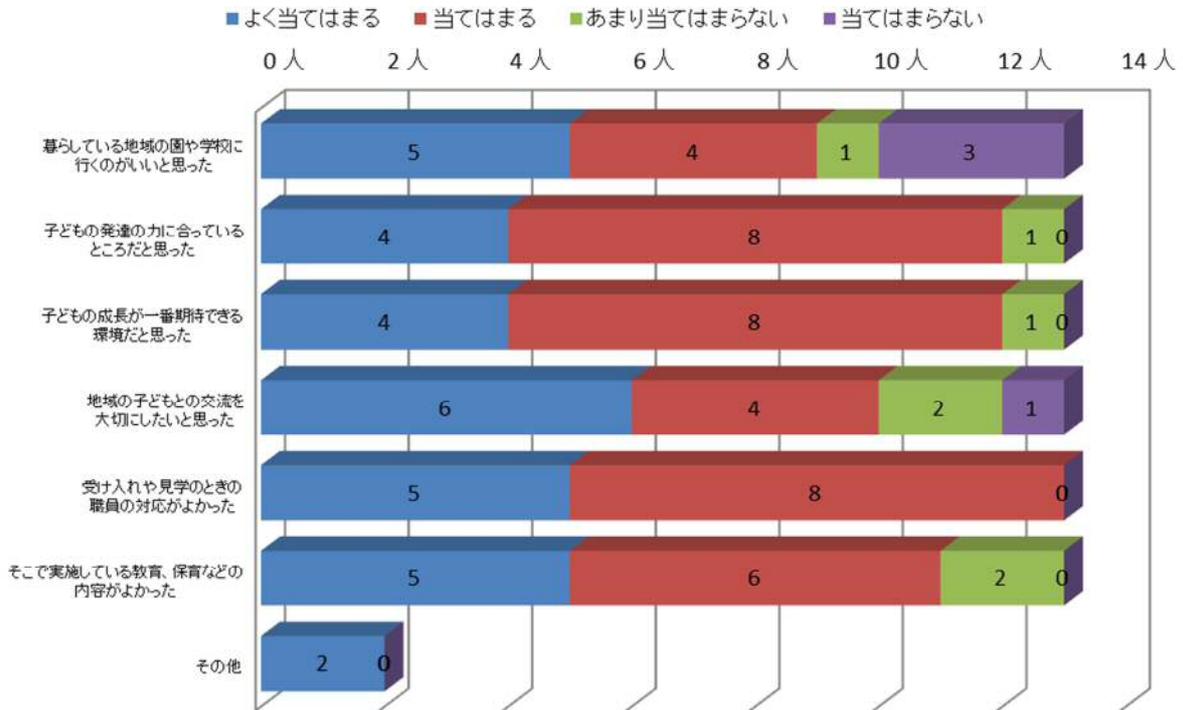


平成 25 年 7 月実施

全体(年長)



全体(年長)

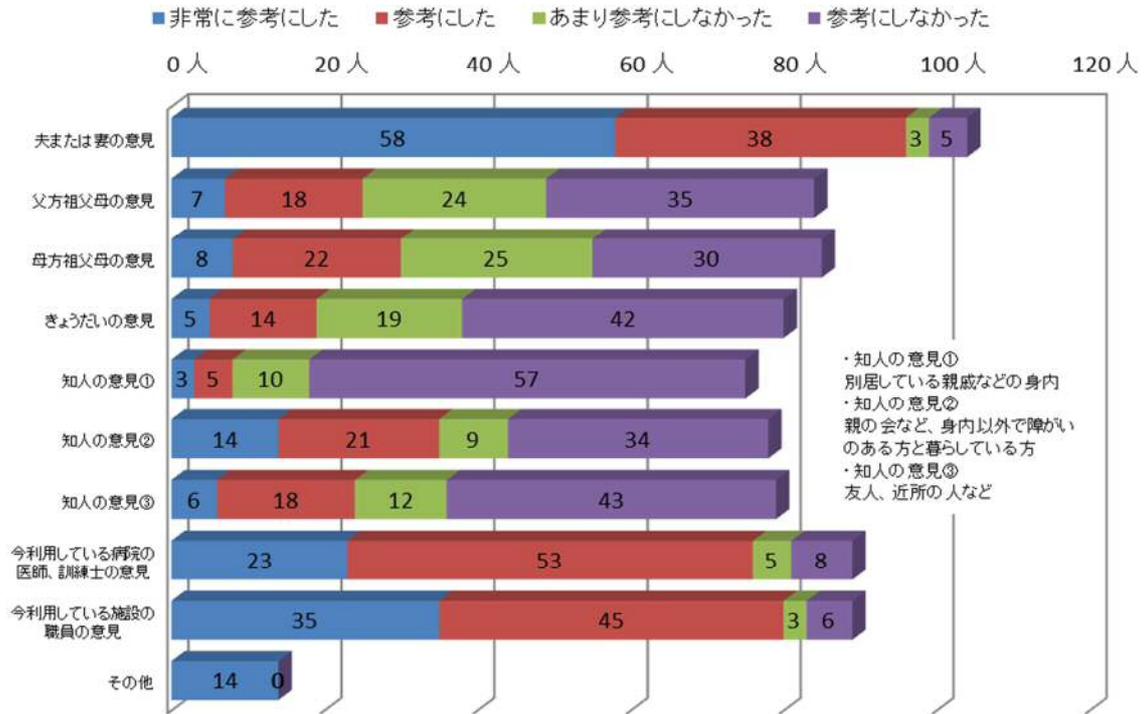


意見を参考にした人

参考にした人としては、2回とも配偶者の意見を参考にしているという答えが最も多くなりました。お子さんの進路について、第一は配偶者間で相談されることが多いことから、それぞれにきちんとお子さんについての情報をお伝えすることの大切さが確認できました。センター施設職員や、センター医師、訓練士の意見も参考にしているという回答を2回とも全体の60%程度で、配偶者について参考にしているということで、センターに対する信頼の厚さを感じました。祖父母の意見を参考にすると答えられた方は全体の1/4程度で予想以上に少なめでしたが、身近な支援者として大切にしたいと思いました。また、知人では親の会など同じような障がいを持った方の意見を参考される方もおられており、こちらが提供する支援が単にその人とどまるのではなく、他の人にも影響をしていくのだということがわかりました。

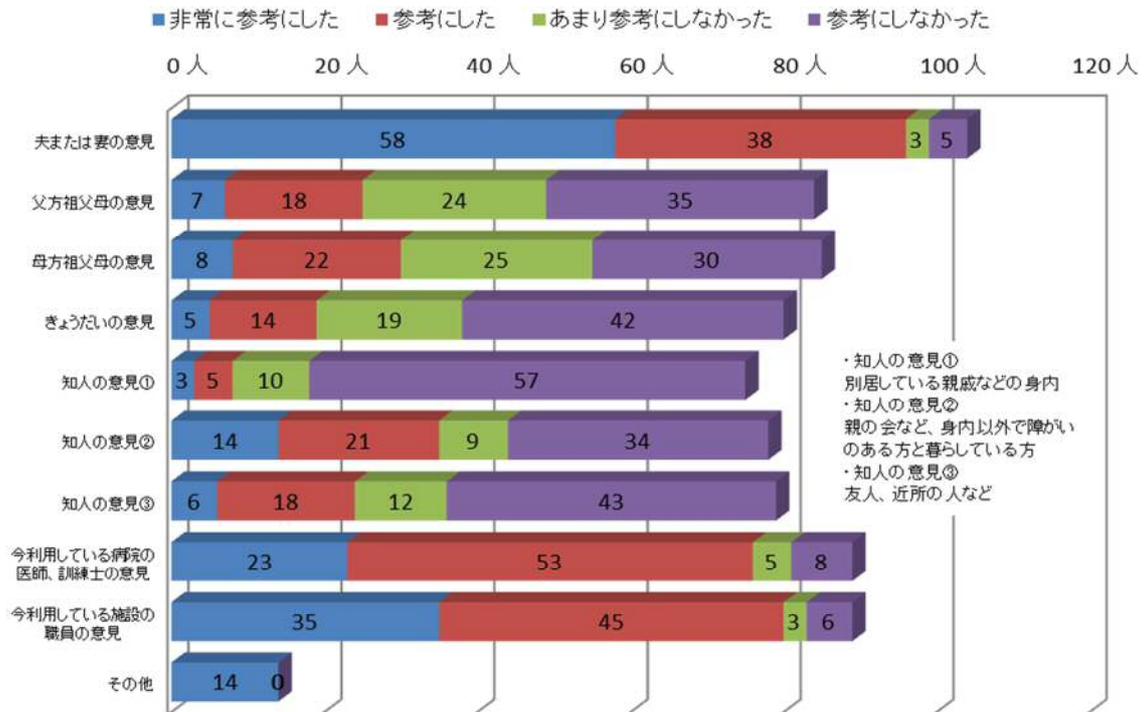
平成 25 年 7 月実施

全体



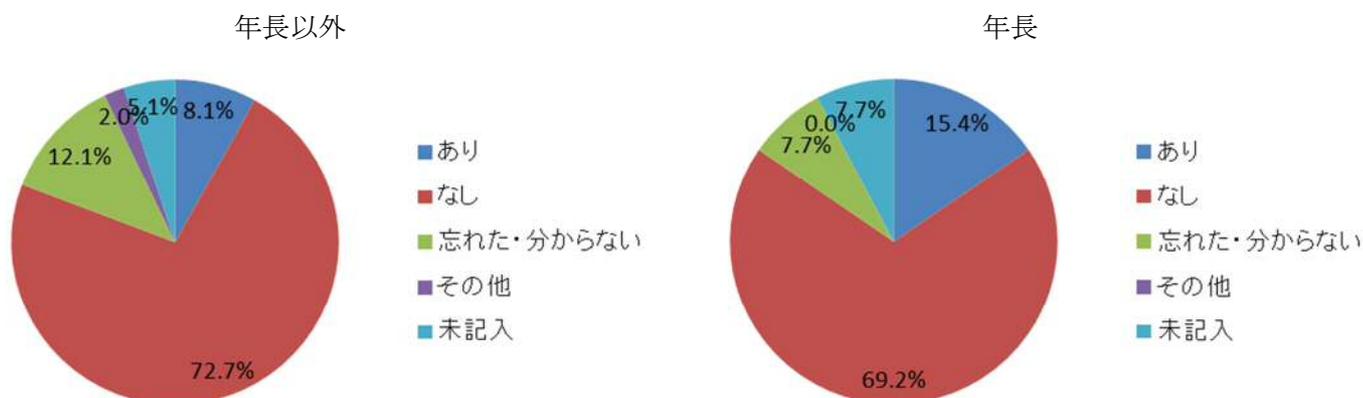
平成 26 年 2 月実施

全体



平成 25 年 7 月と平成 26 年 2 月での変更

年長の方が実際の進路として、特別支援学校選んだ方が若干多くなったために、変更された方が若干多いのですが、年長以外、年長とも約 7～8 割の方が 7 月の時点から変化がありませんでした。



自由記述について

不安な点について

7 月には 80 名、2 月には 70 名からご意見をいただきました。7 月では選んだ進路がこどもに合っているかどうかや進路について本当によかったか迷っているという不安が多くありましたが（それぞれ 26 名、16 名）、2 月の時点ではそういった不安は減少していました。

7 月、2 月を通して友だちとの関係を不安に思う方は多くおられました（それぞれ 15 名、13 名）。他の保護者の受け入れについての不安もそれぞれ 5 名、7 名で記入がありました。友だちとの関係を合わせると 31 名、23 名と約 1/3 の方が周りの方の理解や対応について不安に思っています。

配慮してほしい点について

7 月には 59 名、2 月には 57 名の方から回答がありました。どちらも本人の特徴の理解やそれに合わせた対応をしてほしいという内容が多く、ついで、保護者と情報交換の希望、健康・安全面への配慮を望む声が多くありました。

まとめ

進路の決定にあたっては、お子さんの成長や発達が進められることを第一に考えて選択されることが伺えました。また、センター職員の意見を参考にしたという方も多くあり、後半の調査ではその割合が高まっていることから、センターに対する期待と信頼の高さがうかがえました。お子さんの状況を第一に進路を選択されていることを考えると、センターでの療育、個別療法を通して、お子さんの発達を促すとともに、診療や検査でお子さんの適切な状況を把握してお伝えすることの大切さを改めて確認できました。

7月から8月にかけての比較的早い時期の調査と年度末近い2月から3月にかけての調査を比較すると、進路については、年度の早い時期に決められる方が多く、その後の変更される方は少ないという結果でした。かなり早い時期に進路を決められる一方で、早い時期には進路について不安や心配も持っていることがわかりました。

自由記述の中では進路に対するさまざまな不安をご記入いただきました。

今回のアンケートをもとに保護者の皆様の不安を少しでも解消できるように、また、ご期待にお応えできるよう、お子さんの状況を適切に把握するとともに、成長を促す働きかけを大切にしていこう、日々の療育、診療、個別療法に取り組みたいと思います。進路先の環境や内容についての具体的な情報提供や、進路先に対してお子さんの情報を丁寧に伝えること、また、そういった取り組みがセンターでされていることを保護者の方にお伝えすることで、少しでも不安が軽減できればと思います。

- そこを選ばれた理由について、以下の項目のうち当てはまるところに○をおつけ下さい。

	よく当てはまる	当てはまる	らない	あまり当てはま	当てはまらない
暮らしている地域の学校に行くのがいいと思った					
子どもの発達のに合っているところだと思った					
子どもの成長が一番期待できる環境だと思った					
地域の子どもの交流を大切にしたいと思った					
受け入れや見学の際の学校の先生の対応がよかった					
そこで実施している教育の内容がよかった					

- その他の理由があればご記入ください。

- 進路について最終的に決める際には、どういった方の意見を参考にされましたか。以下の項目のうち当てはまるところに○をおつけください。

	にした	非常に参考	参考にした	にしなかった	あまり参考	かった	参考にしな
夫または妻の意見							
父方祖父母の意見							
母方祖父母の意見							
きょうだいの意見							
知人(別居している親戚などの身内)の意見							
知人(親の会など、身内以外で障がいのある方と暮らしている方)の意見							
知人(友人、近所の人など)の意見							
今利用している病院の医師、訓練士の意見							
今利用している施設の職員の意見							

- ・ その他にも意見を参考にされた方がお見えでしたら、以下にご記入ください。

- ・ 進路についてはどんな点は不安ですか。

- ・ 進路先に配慮してほしいことについてお書きください。

- ・ (以下は2月実施分のみ)

- ・ 7月にも進路についてのアンケートを取らせていただきましたが、そのときと現在とでは進路の変更はありましたか。

ある ② ない ③ 忘れた・わからない ④ その他()

- ・ 進路について「② 決まっていない」とお答えの方にお尋ねします。
進路について迷われている点、お悩みの点についてお教えてください。

ご協力ありがとうございました。

- そこを選ばれた理由について、以下の項目のうち当てはまるところに○をおつけ下さい。

	よく当てはまる	当てはまる	らない	あまり当てはま	当てはまらない
暮らしている地域の園に行くのがいいと思った					
子どもの発達のに合っているところだと思った					
子どもの成長が一番期待できる環境だと思った					
地域の子どもの交流を大切にしたいと思った					
受け入れや見学の際の職員の対応がよかった					
そこで実施している教育、保育などの内容がよかった					

- その他の理由があればご記入ください。

- 進路について最終的に決める際には、どういった方の意見を参考にされましたか。以下の項目のうち当てはまるところに○をおつけください。

	にした	非常に参考	参考にした	しなかった	あまり参考	なかった	参考にしな
夫または妻の意見							
父方祖父母の意見							
母方祖父母の意見							
きょうだいの意見							
知人(別居している親戚などの身内)の意見							
知人(親の会など、身内以外で障がいのある方と暮らしている方)の意見							
知人(友人、近所の人など)の意見							
今利用している病院の医師、訓練士の意見							
今利用している施設の職員の意見							

参考資料2 通園施設利用児保護者の進路についての意識調査実施メンバー

氏名	所属
松浦 利明	豊田市こども発達センター のぞみ診療所 心理言語グループ主任(責任者)
若子 理恵	豊田市こども発達センター のぞみ診療所長
藤村 慶子	豊田市こども発達センター 地域療育室長
神谷 真巳	豊田市こども発達センター 地域療育室 相談支援グループ主任